富川小学校　河川防災授業　実施報告

　沙流川の災害について学び、自分たちの住む地域の災害リスクを理解するとともに、災害から身を守るために必要な行動を考えてもらうことを目的とし、防災講話および、ハザードマップ等を使った学習、マイ・タイムラインの作成による防災授業を実施しました。

実施概要

実施場所	日高町立富川小学校（日高町富川東1丁目1-1）
実施日	令和７年９月１日（月）
実施時間	１０：２５～１２：００（5分休憩含む） ３～４時間目（４５分×２コマ）
実施会場	１階 プレイルーム
対象学年	５年生（４０名）
内容	防災講話、ハザードマップを使った学習、 川の水位調べ、マイ・タイムラインの作成
支援機関	北海道開発局室蘭開発建設部 環境防災総合政策研究機構

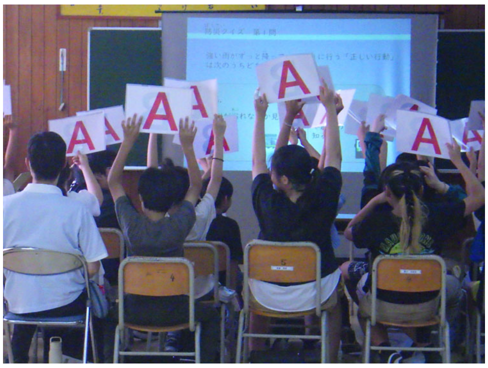
日高町立富川小学校

実施スケジュール

	実 施 内 容
３時間目 （10:25～11:10）	■ 今日のおはなし 今日の防災授業について内容紹介
	■ 防災講話 川の利用状況、過去の災害、流域治水の取組み等について説明
	■ 地域の災害リスクを確認しよう ハザードマップを使って、地域にある災害リスクを確認し、沙流川が氾濫する前に避難し終えておくことの大切さについて説明
	■ 防災クイズ 防災情報や気象情報、非常持出品についてのクイズを出題し、注意点等を交えて解説
	■ タブレットを使って川の水位を確認してみよう タブレットを使って実際に「川の防災情報」にアクセスし、沙流川の現在の水位や雨量、河川カメラを確認
４時間目 （11:15～12:00）	■ マイ・タイムラインについて マイ・タイムラインについて説明した3分程度の動画視聴の後、台風が発生してから川が氾濫するまでの状況を説明
	■ マイ・タイムラインの作成 逃げキッドの資料を使って、マイ・タイムラインの作成を体験

授業の様子（３時間目）

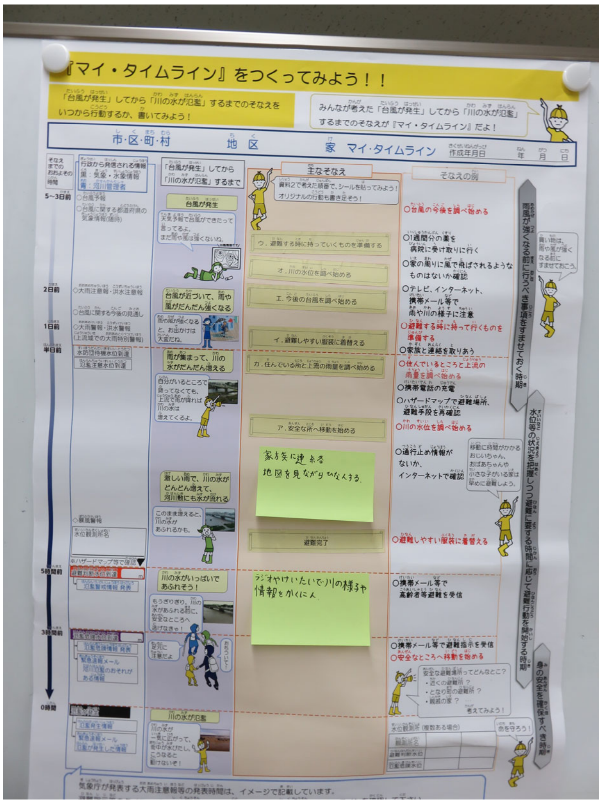
防災講話では、沙流川の自然や歴史、過去の災害、流域治水の取組みについて等、沙流川全体についての学習を行いました。その後、ハザードマップや川の防災情報を確認し、地域の災害リスクや川の水位の調べ方について学習しました。



授業の様子（４時間目）

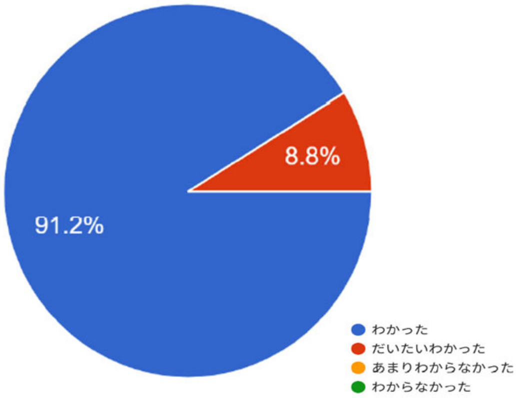
4時間目は、逃げキッドの資料を使ってマイ・タイムラインの作成体験を行いました。台風が発生してから沙流川が氾濫する前に避難が完了できるように、必要な準備についてグループごとに話し合い、最後に発表してもらいました。

作成したマイ・タイムライン（一例）

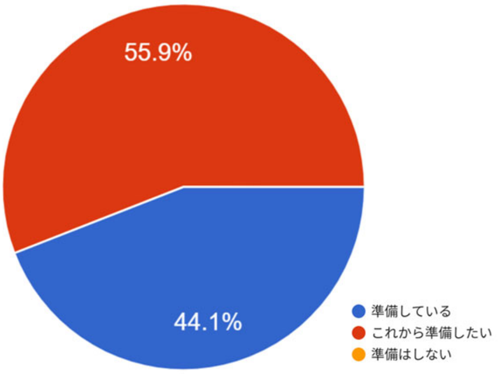


生徒・先生へのアンケート結果

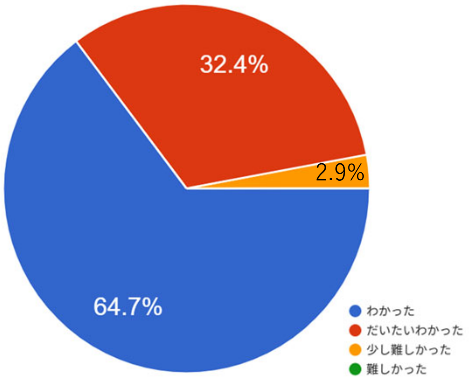
事前の準備や早めに避難することの大切さ



非常持出品の準備



マイ・タイムラインの作成について



■ 生徒の感想（一部抜粋）

・災害で、たくさんの人が被害にあったりするから、ハザードマップや防災グッズを準備しようと思った。
・台風が来るとわかったら、やることが分かった。
・早めに準備をやれば、すぐに避難もできるから今後、避難できるように準備をする。
・防災グッズの大切さや、洪水が起きたときは何分で水がどこまで上がるかが分かった。
・今日の夜にものすごい雨が降ってて水位情報をすぐに確認して約0.20m位上がっていてびっくりした。
・災害について、もっと勉強したいと思いました。
・マイ・タイムラインという言葉は初めて聞いたけど、どんなものなのか知れてよかった。

■ 先生の感想

以前よりも「マイ・タイムライン」の作り方がわかりやすく、話し合いがしやすい形式になっていたので、とても良いと思いました。また、水位情報についてのお話もとてもわかりやすく、子どもたちは学習の後も、自主的に調べていました。ありがとうございました。またよろしくお願い致します。